

2年連続

ごみのリサイクル率 上昇中！

平成 30 年度の豊橋市のごみ（一般廃棄物）の排出量（速報）について、お知らせします。

ポイント① ごみの総排出量は、ほぼ前年度並み

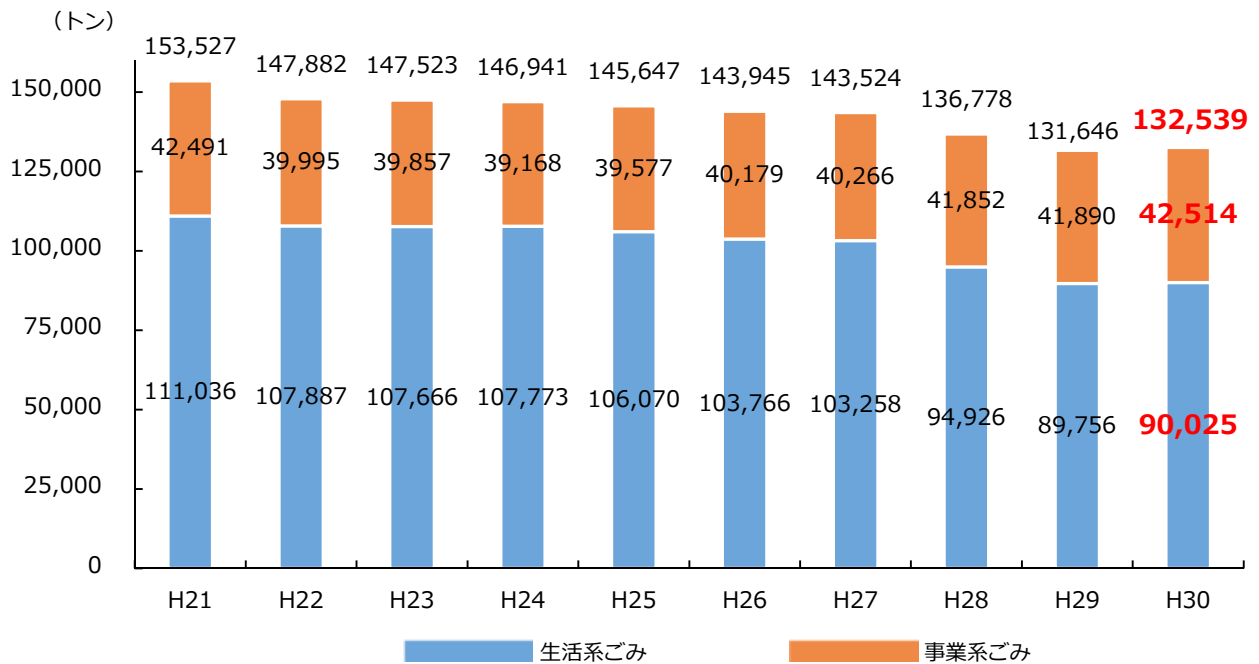


Fig. 1 豊橋市におけるごみの総排出量の推移

豊橋市におけるごみの総排出量は前年度と比べて 893 トン（0.7%）の**微増**と、ほぼ前年度並みでした。

内訳は、生活系ごみ^{*1}が 269 トン（0.3%）の**微増**、事業系ごみ^{*2}が 624 トン（1.5%）の**増加**でした。

生活系ごみは『ごみ処理非常事態宣言』などの啓発活動により、生ごみや雑がみの分別が進み、**もやすごみが減少した**一方で、『プラマークごみの毎週収集への変更』により、排出先がスーパーなどの店頭からごみステーションへ戻り、**プラマークごみが増えた**こと、『台風被害』により**こわすごみなどが増えた**ことが要因と考えています。

また、事業系ごみは平成 31 年 4 月 1 日からの処理手数料改定によるかけ込みの排出が要因と考えています。

* 1：生活系ごみ - 家庭から排出されるごみ

* 2：事業系ごみ - 事業所から排出されるごみ

ポイント② 生活系ごみ量は、引き続き他都市並み

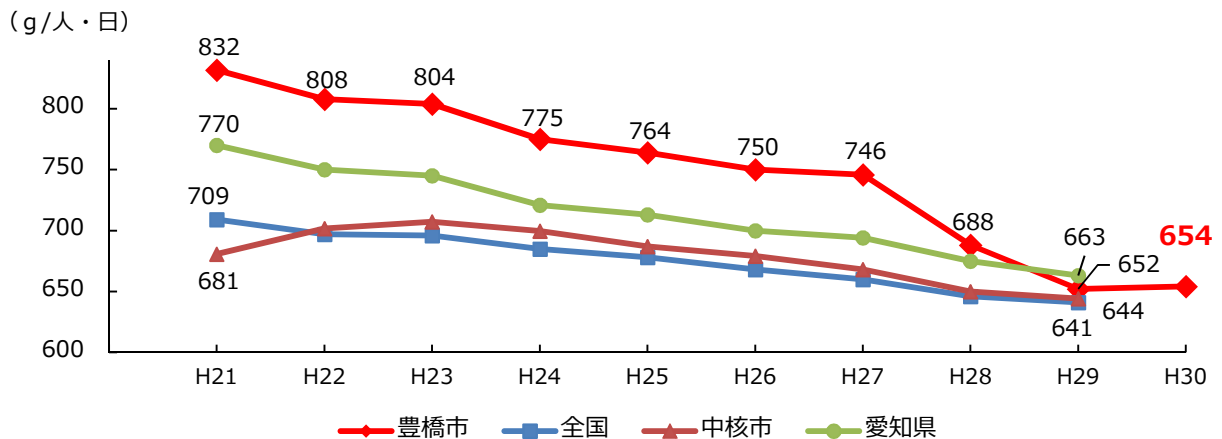


Fig.2 1人1日当たりの生活系ごみの推移

豊橋市民1人が1日に出す生活系ごみの排出量は654グラムで、前年度と比べて2グラム(0.3%)**微増**と、前年度に引き続き、ほぼ全国、他都市並みでした。

これは、ポイント①の要因により微増したものの、平成28年度の指定ごみ袋制度導入や平成29年度の生ごみ分別開始による減量効果が保たれたことが要因と考えています。

ポイント③ 家庭系ごみ量は、減量と資源化が進み他都市を大きくリード

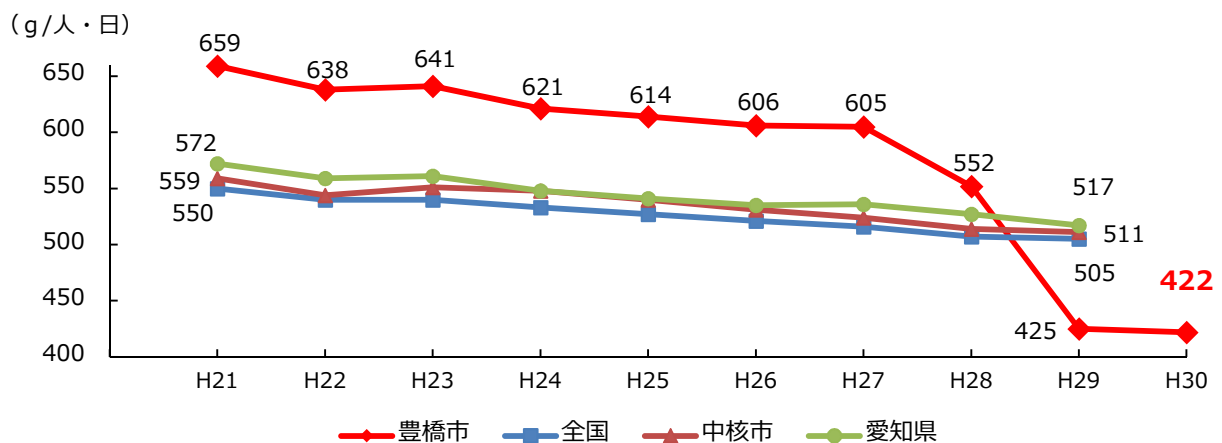


Fig.3 1人1日当たりの家庭系ごみの推移

豊橋市民1人が1日に出す家庭系ごみ^{*3}の量は422グラムで、前年度と比べて3グラム(0.7%)の**微減**と、ほぼ前年度並みで、全国、他都市を大きくリードしています。

これは、指定ごみ袋制度導入や生ごみ分別開始によるごみの減量と、**生ごみや雑がみの分別促進**による資源化が進んだことが要因と考えています。

*3：家庭系ごみ - 生活系ごみのうち、生ごみや古紙、プラマークごみなど資源として収集したものを除いたごみ

ポイント④ リサイクル率は、2年連続で上昇

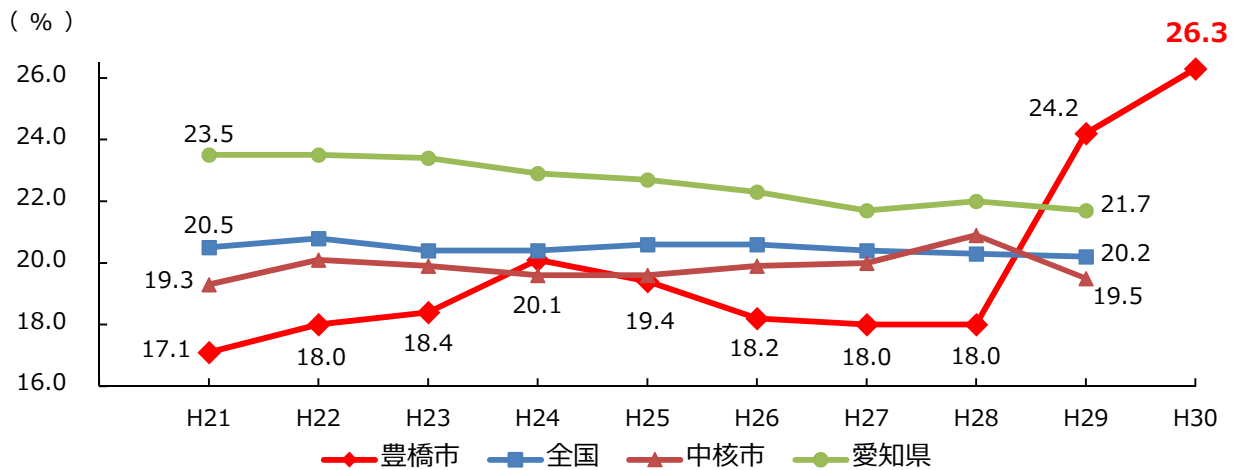


Fig.4 リサイクル率の推移

リサイクル率*⁴は26.3%と、生ごみ分別の開始により大きく上昇した前年度から、さらに2.1ポイント**上昇**しました。

これにより、豊橋市の目標である『令和2年度（2020年度）に28%』まで、あと1.7ポイントとなりました。

これは**生ごみを燃やさず**に**リサイクル**するバイオマス活用センターが1年を通じて安定的に稼働したことが要因と考えています。

*4：リサイクル率 - ごみの総排出量に占める資源化量の割合

ポイント⑤ もやすごみの4割超は、リサイクルできる資源

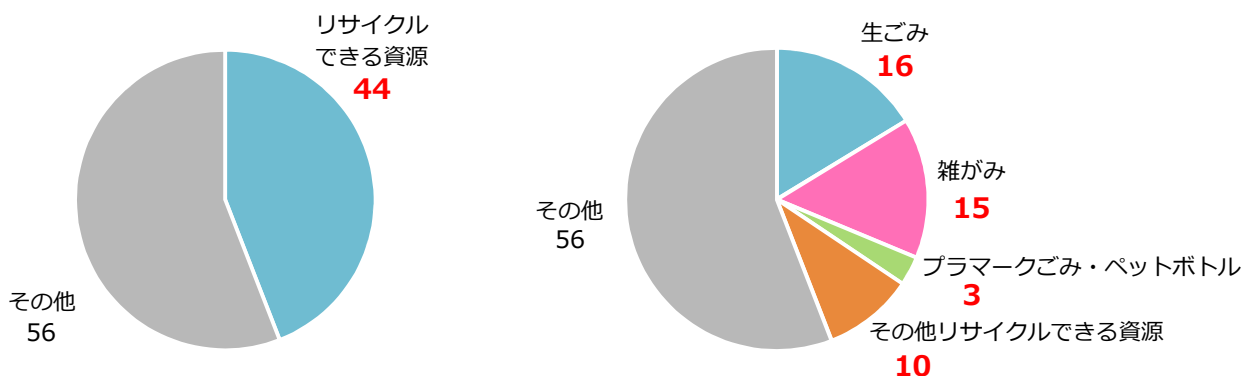


Fig.5 もやすごみの分別状況 (%)

もやすごみの減量は進んでいますが、もやすごみの**44%**は分別すれば**リサイクルできる資源**であり、そのほとんどは**生ごみ**と**雑がみ**です。

もやすごみとして排出・処分されてしまう多くの資源をいかに分別・リサイクルするかを大きな課題と捉え、今後も、もやすごみからの資源の分別促進、特にもやすごみとして出されがちな**生ごみ**と**雑がみ**の分別促進に努めます。